

第2回日本ジオパーク全国大会 洞爺湖有珠山大会

9月29日～10月1日までの3日間、第2回日本ジオパーク全国大会洞爺湖有珠山大会が洞爺湖文化センターをメイン会場にして開催されます。テーマは、「ジオツーリズムを通じた観光地づくり～変動する大地との共生～」です。この大会は、ジオパークを推進している地域や関心がある人たちが集り、観光、教育、防災をキーワードに、「地球と人間の関わり」「防災と観光の融合」「震災後の日本再生」などについて広く議論し、歴史的な転機にある現在の日本で、ジオパークの果たす役割を考えていこうとするものです。

同期間中は、岡田弘北大名誉教授らが基調講演するシンポジウムや脚本家の倉本聰氏による記念講演のほか地元児童生徒の取組発表やジオツアーも行われます。

ジオパークは、そのまま訳すと地球(ジオ)の公園という意味です。山や川をよく見て、その成り立ちと仕組みに気づき、生態系や人間生活との関わりを考える大地の公園です。地球を丸ごと考え、地球を楽しむ場所、それがジオパークといえます。

洞爺湖有珠山ジオパークは、2009年8月、中国泰安で開催された世界ジオパークネットワーク事務局会議で、糸魚川、高原半島の2地域と一緒に国内で始めて世界ジオパークに認定されました。「変動する大地との共生」をテーマとして、活火山有珠山の懐(ふところ)で、火山や地域の歴史を学び、防災・減災に向けた人材育成と、ジオツーリズムを通じた観光、農林水産業などの活性化を目指して取り組んでいきます。

観光地としてこのジオパークを生かし、そして洞爺湖温泉の再生へとつなげていく光明を見つけ出す重要な大会といえます。

9.30(金) 会場 洞爺湖文化センター

<シンポジウム・「ジオツーリズムを通じた観光地づくり～変動する大地と共生～」>

●14:30～

■パネルディスカッション

コーディネーター：渡辺真人氏 (独立行政法人産業総合研究所主任研究員)



■基調講演1
岡田 弘氏
(北海道大学名誉教授)



■基調講演2
大島直行氏
(伊達市噴火湾文化研究所所長)

<講演会・鼎談>

●18:30～

倉本 聰氏講演会

- 鼎談
- ・伊藤和明氏 (NPO 法人防災情報機構会長)
 - ・倉本 聰氏 (脚本家)
 - ・三松三朗氏 (三松正夫記念館館長)



観光地づくり ～変動する大地と共生～

1(土)

洞爺湖文化センター(主会場)